

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2008年2月20日発行 第58号 (毎月1回発行)

教務からのお知らせ	P4 ~ P5
事務室からのお知らせ	P6
保健室・カウンセリングルームからのお知らせ	P7 ~ P10
生徒支援からのお知らせ	P11
進路支援からのお知らせ	P12
特別活動	P13
2月の聖句	P15

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>



去り行く冬を楽しみ、春を待とう!!

暦の上では2月4日が立春でしたが、当日の朝方は雪が降るような天気でしたし、その後も雪が積もる日がありました。去年は暖冬だった記憶がありますが、今年はほんとうに寒い日が続きます。よく寒いのも「お水取り」までと聞きますが、これは東大寺二月堂に於いて3月1日から14日まで勤められる修二会の本行の事です。この時期から三寒四温を繰り返し、本格的な春へと季節が変わっていきます。

さて、生徒のみなさんは後期単位認定テストを終え、その結果により今後の予定も決まることとなります。再テストなどがある生徒さんは、もう少しの間がんばってくださいね。

卒業予定の生徒さんは、次の生活の準備に入りますが、高校生活を締めくくる時期でもありますので、充実した時間を過ごしてください。

朝の暖かい寝床から勇気を振り絞って起き上がり、冷たい大気の感触を味わいながら来る春を待ち、日々の生活を守るといふ、この時期独特の季節感を楽しんでください。

本校の卒業要件

1. 在籍期間が通算3年以上。
2. 必修科目を含めて74単位以上の修得。
* 本校での単位修得にはスクーリング出席合格とレポート課題合格そして単位認定テスト合格が大前提です。
3. 特別活動の出席時間数が30時間以上。

2007年度 大阪YMCA年間聖句

「いつも喜んでいなさい。

絶えず祈りなさい。

どんなことにも感謝しなさい。」

テサロニケの信徒への手紙— 5章 16-18節

Raising strong children and building a loving community
OSAKA YMCA  Since 1882

スケジュール

予定日程表

日	曜	行事予定など
2 月		
2/21	木	「筆記テスト結果・答案」発送
2/23	土	特別活動：街美化ボランティア
2/27	水	筆記テストの再テスト 10：30～（再テスト代替課題提出締切り 15：00 必着）
2/29	金	「課題テスト、筆記テストの再テスト・再テスト代替課題」返送（予定）
3 月		
3/1	土	2 年次生対象保護者とともに進路を考える会
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	卒業式（大阪 Y M C A 会館）
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	ホームルーム・講座説明会
18	火	
19	水	〔学校通信〕発送（予定）
20	木	（春分の日）
21	金	講座登録（年次別指定）
22	土	特別活動：街美化ボランティア
23	日	
24	月	講座登録（年次別指定）
25	火	講座登録（年次別指定）
26	水	講座登録（年次別指定）
27	木	講座登録（年次別指定）
28	金	講座登録（年次別指定）
29	土	
30	日	
31	月	

2/28～3/16の間、
特別な用事がない限り
通学はできません。

教務からのお知らせ

【単位認定テストの筆記テストの再テスト】 2月27日(水)

先に実施された筆記テスト(追テストを含む)において、不合格となった講座のある人には、21日(木)の答案返送に合わせて、再テスト(講座によっては代わりに課題提出)の案内をお送りします。

該当者は案内にしたがい、再テストは2月27日(水)に受験し、課題の場合は、2月27日(水)15時学校必着で提出してください。

ただし、再テスト・課題料が1講座につき1000円必要です。

該当者には納入の案内をお送りします。納入されない場合は単位が認定されませんのでご注意ください。いったん納入された再テスト・課題料は、理由に関わらずお返しできませんので、ご了承ください。

【卒業予定者で「卒業認定の特例」適用の人へ】

この3月卒業予定者で、「卒業認定の特例」の申請により、必修科目の再テスト受験、再テスト代替課題提出の必要な人には、21日(水)の筆記テスト結果送付時に、個人別に通知いたします。個別の案内を見て間違いのないようにしてください。

また、追加講座を登録している人は、登録した講座を必ず受講するように、再度確認をしてください。

また、特別活動の参加時間数が不足の人は、早急に充足させてください(〔学校通信〕12月号・1月号および今月号の「特別活動案内」参照)。

特別活動の報告書の締切りは、2月29日(金)17時学校必着です。

【2007年度後期卒業式】 3月13日(木)

卒業式は、大阪YMCA会館(大阪市西区土佐堀1-5-6)で行います。

卒業決定者には、3月4日(火)頃、詳しい通知をお送りします。

(式場の広さの都合上、本校ではありませんのでお間違えないように願います。)

卒業生とその保護者のみが出席できます。

【ホームルーム】 3月17日(月) 在籍生全員対象(卒業生を除く)

今年度最後のホームルームであり、後期の成績表をお渡しした後、新年度前期の講座登録(受講する講座の申し込み)について説明し、個人別に面接して登録する日時の予約をします。なお、登録は3月21日(金)から28日(金)のうち、年次別に指定された日に行います。

(2008年度の施設設備費を期日までに納入されていないと次年度の講座登録はできません。

「事務室からのお知らせ」参照)

また、ホームルームの日に、新年度前期に開講予定の講座のうち、注意を要するいくつかについて、内容を説明する会を開きます。出席は任意（希望者のみ）ですが、系列の選択科目などで不本意な登録をしないためにも、なるべく出席してください。

年次別ホームルームと開講講座の説明会の時間は次表のとおりで、教室は当日掲示します。

（ホームルームは特別活動1時間になります）

時 限	時 間	ホームルーム（HR）と講座の説明会
2 限目および 3 限目	10：30～11：05	2年次生（2A 2B 2C 2D 2E 2F 2G） および今期卒業しない3年次生のHR
	11：10～11：35	新年度前期の開講講座の説明会 （特別活動にはなりません。）
	11：40～12：15	1年次生（1A 1B 1C 1D）のHR

街美化ボランティア

2月 23日（土）
3月 22日（土） } 16：00 から約1時間（雨天決行）

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。

（特別活動1時間。遅刻や途中で帰ったときは認定されません。）

<お知らせ>

1Bクラス担任の教員であります山本詠子さんが、産前産後休暇等で2月よりしばらくの間、休みとなりますので、今後は副担任であります教員の辻本修次さんが担任を担当いたします。

事務室からのお知らせ

【新年度事務手続きについて】

次年度も在籍予定の生徒は、新年度を迎えるにあたって、今後「2008年度 施設設備費」の納入と生徒証明書用写真の提出が必要となります。「2008年度 施設設備費納入のご案内」と「2008年度生徒証明書」用に必要な写真の提出用紙をすでに保護者の皆さんへ送付していますので、必ず期限までにお手続きください。(次年度「休学」する場合も前述の手続きが必要です。)

2008年度施設設備費(40,000円)の納入について

納入期限は3月18日(火)です。納入手続きがない場合、2008年度前期の講座登録ができません。また、在学の意思がないとみなし場合によっては退学になることがあります。なお、施設設備費の延納手続きはできませんのでご注意ください。

「2008年度生徒証明書」について

2008年度生徒証明書用の写真の提出が必要です。「2008年度施設設備費」納入の案内とともに提出用紙を送付していますので、下半分の提出用紙に写真を貼って、3月17日(月)までに事務室へ提出(または郵送)してください。なお、2008年度生徒証明書は、2008年度前期講座登録の際にお渡しします。

背景なしタテ3、5cm×ヨコ2、5cm・1枚

【住所等変更手続きについて】

現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。あわせて生徒証明書の再発行が必要な場合は、写真を提出してください。(即日発行はできません。)

届出用紙は事務室にある他、「学務の手引き」の巻末にもあります。コピーして使用してください。

保健室・カウンセリングルームからの お知らせ



* 健康診断書について

05年度～07年度の入学生で入学時に健康診断書を渡された人（A4・白：新入生、編入生のみ）現在までに未提出・未受検の連絡した人（転入生を含む）は、出来るだけ早く医療機関で健康診断を受けて提出してください。健康診断の記録が無い場合は、学校側として健康状態の把握ができない為、在学中の宿泊をとまなうスクーリングへの参加はできません。また、医療機関の受診が必要な人も、早めに受診しましょう。その結果等で学校へ連絡しておきたいことがあれば、保健室または担任へ連絡してください。

【カウンセリングルーム】

保健室・カウンセリングルーム、及び事務机周辺での食事は禁止です！

* 2～4月はスクールカウンセラーが来られない為、閉室しています。

* 来年度の予定については、4月以降の学校通信で連絡します。

カウンセリングルームについてのお問い合わせ、ご予約は保健室（後藤）まで。

< 保健室・カウンセリングルーム便り >

< 今回は、保健室とカウンセリングルームに関わる方々に後期のコメントを頂きました。 >

金曜日担当 小方瑠子「短い間でしたが、お世話になりました。」

金曜日にカウンセリングを担当しておりました小方です。お会いできた方は数少なく残念な気持ちではありますが、1月をもちまして退職させて頂くことになりました。学生の方のお話を聞くのは初めてでしたし、逆に勉強させて頂くばかりだったので申し訳なく思います。

この3ヶ月間、カウンセリングルームで話される内容はそれぞれ違って、相談に来られた人には共通して「寂しさ」や「不安」があるように感じました。しかし、この感情は決して特別なものではなくどんな人にもあり、そしてとても厄介なものです。寂しさや不安とどう関わっていくか、人によってはとても難しい課題であると思います。皆さんは、自分のそういった感情とどう折り合いをつけていっているでしょうか。一番身近な方法は、他者と関わり寂しさを分かち合う、もしくは紛らわすことです。ただ、そこには落とし穴があり、その求める・求められる行為に溺れたり、人との距離の取り方を誤ったりもします。また、そのことに傷つき、自暴自棄になって自分を傷つける行為に走る人も多くいます。

寂しさに苦しまないためには「自分はこれでいいのだ」と自信をもつことです。それは、案外素朴な毎日の積み重ねであったりします。そして、人は孤独であると楽観することが始まりなのかもしれません。100%寂しさを解消し毎日楽しくおかしく生きている人なんていませんし、そう見える人はきっと始めから満たされていたのではなく、うまく寂しさと付き合いながら、小さなことにも幸せを感じるよう心がけをしているのではないかと、思います。毎日予定が一杯で常に誰かと一緒にいても満たされない人、あまり人付き合いがなくても幸せとを感じる人、その違いは家族との愛着関係が原因であると言われても、今

を生きていかなくはなりません。

これから進学・就職など多くの経験をしていく中で「自立する」ということに色々な不安、寂しさを感じると思いますが、「自分はこれでいいのだ」と開き直ってみてはどうでしょうか。寂しさと正面から向き合えなくても、今そこにある人生に少しでも幸せを見つけ、感謝し、そして楽しんで下さい！短い間でしたがお世話になった先生方、生徒の皆様、ありがとうございました！

水曜日担当 田中俊英 「5年間お世話になりました」

以前に何度か書きましたが、僕の本業は、「NPO 法人青少年自立支援施設淡路ブラッツ代表」というもので、阪急電車の淡路駅近くの同施設で、日夜青少年の悩み話を聞いています。その業務をメインとしながら、ここ5年間は、本校でのカウンセラーの仕事の続けてきました。けれども、本業のほうがあまりに忙しくなり、ついには本校のカウンセラー用にさく時間がなくなってしまいました。個人的にはまだしばらく続けたかったのですが、そのような理由のため、残念ながら今年度限りで引退させていただきます。

この5年間、めちゃくちゃ多くはありませんがそれなりの数の生徒さんの話をお聞きし、その生徒さんたちが卒業していくのを見てきました。幸いにもほとんどの生徒さんと楽しい時間を過ごすことができ、彼ら彼女らの巣立ちを見ることができましたので、僕としてはそれなりに感慨深いです。特に、僕の本業においては就労支援も含めた20代の若者支援が中心ですので、本校で10代後半の青年たちとディープな時間を過ごせたことは、僕自身の支援者としての成長という点においてもたいへん勉強になりました。みなさんありがとうございました。

このような趣旨の挨拶文は何かと儀礼的になることをご容赦ください。最後に、これからも当カウンセラー室を気軽に訪れてみてください。08年度からのカウンセラーのシステムがどうなるか僕にはわかりませんが、通信制高校において、カウンセラー室が常時開設されているところは非常に珍しいと思います。また、隣の保健室ともよく連携がとれており、学校全体で生徒さんたちをフォローしていくという本校の姿勢には共鳴できます。これからは外部から応援していきたいと思います。

月曜日担当 石井邦也 「旅の途中で」2008.2

後期のスクーリングが終わり、授業やカウンセリングで出会ったいろんな生徒さんの中に、この春卒業する人たちが何人か居ます。その人たちのことを思い浮かべると、ふと寂しい気分になります。友達のこと、これからの進路のことなど、いろいろ悩み、これからどうしたらいいのか、どう考えたらいいのか、とあれこれ答を探し、ちょっと進んではまた次の壁に突き当たり、また出口を探す。そんなことを一緒にしたのでした…。

今という「時」や、一緒に過ごした「時」などは、それぞれの人生の中で、どんな風にイメージされ、描かれるのでしょうか…？

『月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也…(人もまた)日々旅にして、旅を栖とす…』と書いた芭蕉の言葉に惹かれます。それぞれひとり一人が、また、それぞれの旅を続けている。そんな中で出会い、そして出来た関係ともいえるのでしょうか…『神ともにいまして、行く末を守り…』、グッドバイ

の語源といわれる“God be with you!”で始まる讃美歌(405番)も思い出されました。

さて、面接相談のテーマとしては、友達・グループのことが多かったです。どこかに所属したいという欲求は多くの方が持っています。自分が自分としてあることを、自分も認め他人からも認められる。そんな居場所を求め探します。特に、中学校時代や前に通った学校で、そのことが上手くいかなかった人にとっては、その欲求が大きくなるのはうなずける事です。そして居場所を求め、旅を続けます。

また卒業後の新しい居場所探しも、大きく目の前に現れてきます。どのように自分を自分らしく作ってゆくのか、自分をどう実現させてゆくのか。そのことが大きな課題となってきます。この自己実現の欲求も、多くの方が持っています。そんな欲求が大きくなってくると、こんなことをしてみたい！ こんな人になってみたい！ こんな道に進んでみたい！と、時には悩み、落ち込み、喜び、新しい出発先を探し出そうとします。

そんな旅の中で、ひと時一緒に歩み、語り合い、今この時点での答を探すのが、私たちの役割なのかな、と今は、考えています。来期もご利用ください。

養護担当 後藤さやか 「時間をかけるということ」

後期の利用生徒数は、昨年度の後期より少し多いくらいでした。でも、今までよりも女子の方が多かったような気がします。それ自体は問題ではないけど、“男子にとっては来にくい場所になってるの？”と少し不安が…。このままでいいのかしら？！

後期のコメントなのに、昨年8月のある宿泊研究会(2泊3日)のことを書きます。今回は3度目で、ほぼ顔見知りだったのに、その研究会のちょうど真ん中くらいに、同室の方に「後藤さんの印象が変わった」と言われました

自分はどんな人？ 家族や周りの反応などで、ある程度固定されているつもりでした。でも、それは目の前に居る人全てに同じように見えるわけではないですよ。当たり前のことだけど、ほとんどの人が普段そのことをあまり意識していません。もちろん、知ろうという気持ちがなければ見えていても気付かないし、知って欲しいと思わなければ自分の“素”を出す事は控えるでしょう。逆手に取れば、理想の自分を見せることだってできる…かも？(場所や人を限定しても、必ず無理はでしてしまうけれど)。“理解する(される)ことは難しい、でもだからこそ面白い”と感じた体験でした。

保健室の利用についても、後期の方が前期より多くなるのは、利用するまでに少し時間がかかるからなのかもしれません。保健室ってどこにあるかわからん。ドア閉まってて中見えんし、どんな子が来てるん？ 先生どんな人なん？ そう思っている生徒さんもいるのかもしれません。人との距離の取り方、理解する方法にも個性があります。時間はかかるものと考えて、ゆっくり時間をかけることや、かかった時間も無駄ではないと思います。保健室以外の場所で話すこと、その時間も内容も、その生徒さんとのひとつの繋がりです。なるべく多くの生徒さんと話せるよう“フレンドリーな私”を目指して…、来年度もどうぞよろしく。

保健環境担当 谷口佳江「なかなか決められないとき・・・」

みなさんは、何かを選ぶとき、どれにしようか迷うことはありませんか？私はよく迷います。例えば、私の場合「大学卒業後は何をしようか？」とか「休日は勉強をしようか？それとも遊びに行こうか？どうしようかな？」とか「お菓子食べたいけど、どうしようかな？」とか・・・

このように大きな問題から小さな問題まで、自分でどうするか決めていくことがあります。みなさんはすぐに決めることができますか？私はなかなか決められないのです。そんなとき、私は人に相談をします。大学のときの先輩は、「[A]と[B]二つの道のどちらに行こうか迷っているのであれば、[A]でも[B]でもない自分の道を作ったら？」と言われました。部活動の仲間は、「しんどい道を選んだら自分のためになるよ」と言います。後輩は「何を選ぶかより、選んだ道でどうするかが大事だと思います」と答えました。最近では、「[A]を選んだ場合の『メリット』『デメリット』、[B]を選んだ場合の『メリット』『デメリット』を書き出したら？」とアドバイスを受けました。特に将来のことについては「なりたい自分・ほしい物を考えていくと自分がどうしたいのかが見えてくるよ」とのこと！また、年配の方に、なかなか決められないことを相談すると「自分1人で決断できるものはあまりない。周りが決めてくれるんだよ」と言われました。

結局は何かを選ぶとき、周りのことも考えると自分の思い通りにいかないこともあります。[A]か[B]どちらかかと思っただけでも、また別の道もあったりして・・・間違っている道であったとしても遠回りでも道は続いていきます。みなさん、迷ったときは私と一緒に考えませんか？！

保健環境担当 加志 勉 「人生いろいろ」

1月は「いく」、2月は「にげる」、3月は「さる」とは、よく言ったもので、「この前正月やったのに・・・」あっという間に2月、しかももう中旬。そして、来月13日には卒業式！私にとって本校での6回目の卒業式を迎えます。（春としては3回目）今年の卒業式は、私の中でちょっと違います。それは、私がこの高校にウエルネス部門から転勤になって初めて担任を持った生徒たちが卒業するからです。中学卒業後新入生でこの学校に来た生徒で、みんな色々な課題も持っていましたがそれを乗り越え卒業します。3年前の入学式後のはじめてのHR、ウエルカムデイなど初々しい頃のみんを思い出します。でも、この3年間でその量はみんな様々ですが成長したなと思います。もちろん、自分のペースで進み、今回は卒業を見送る生徒さんもおられます。一人ひとり歩く早さや、走る速さが違うように人生の進み方も違います。一歩ずつ着実に進み自分の目標に向かって欲しいと思います。

本校は、カウンセラーの田中さんも書かれているように、通信制の学校では珍しく「カウンセリングルーム」「保健室」があります。初めの一歩は照れくさいかもしれませんが、“だめもと”で一度ちょっと勇気を出して扉をたたいてみませんか？新しい何かが見つかるかもしれませんよ！

生徒支援からのお知らせ



先月号でもお知らせしたとおり、スクーリング終了後から新年度がスタートするまでは自習室・スポーツヤードを含めた学校施設は利用できないので、特別な用事がない限り、生徒のみなさんは通学しないでください。ただし、再テストを受験する必要がある人やホームルーム・来期の講座登録などは忘れないでください。(日程をよく確認しておいてください) また、進路相談など相談がある人は、事前に担任に連絡をとってから登校してください(月～金の10:30～16:00の範囲で受け付けます)

単位認定テストが終了し、ほっとしている時期だと思いますが、通信制の長所である長期休みを有意義に過ごしてください。ただし、再テスト・再課題がある人は日程・提出期限を忘れないように。旅行に出かけたり、アルバイトを始めてみるのもいいのではないでしょうか。また、大学・専門学校に進学を希望する人はそのための受験準備を始めるのもいいでしょう。周りにそんなことをしている友達が多いのも通信制ならではだと思います。新しい体験を通じて、新しい自分を発見し、新年度にたくさんのお土産話を聞くのを楽しみにしています。

「学務の手引き2008年度版」を現在改訂作業中です。もうしばらくしたらお渡しできと思いますが、そのうち「校内生活上の決まり」と「校内生活における確認事項」が一部変更になっています。受け取ったらよく読んでおいてください。

『好奇心星人の挑戦 森木忠相写真展』のご案内

期 間 : 2008年3月1日(土)～3月15日(土)

会 場 : 浄土宗應典院

入場料: 無料

お問合せ先: campintheair@mac.com

詳細はYMCA 学院高等学校のホームページからもご覧になれます。

<http://www.ymcagakuin.ac.jp/>

森木忠相さんは、2003年4月～2005年3月まで本校に在籍されていました。

進路支援からのお知らせ

- * 私立大学の一般前期入試もほぼ終了し、まもなく国公立大学の2次試験が始まります。2008年度入試も大詰めの時期となりました。これから受験をむかえる皆さんは、健康に留意し、最後まであきらめずにがんばってください。
また、万一、不本意な結果になった場合は、できるだけ早く担任または進路支援部に相談にきてください。私立大学後期入試等、チャンスはまだあります。

- * すでにご案内していますが、2年次生の保護者を対象に『保護者とともに進路を考える会』を3月1日(土)に実施します。本校の進路状況、入試に関する資料や基礎知識等をご説明する予定ですので、ぜひご出席ください。〔要申込〕

- * なお、2008年度のアシストプログラムの詳細は、3月の学校通信発送時に案内します。

特別活動のお知らせ

映画・アートを見よう！

学校で指定した校外での展覧会、映画・ビデオ鑑賞で特別活動時間を認めます。特別活動時間が不足しがちな人は活用してください。

指定以外のものは認定できません。また休学中の申請も認められません。

利用の仕方

学校で指定した展覧会、映画・ビデオ鑑賞を行う。

を証明するもの(チケットの半券・タイトル名が書かれてあるビデオレンタルの領収書、レシートなど)を学校に持参して、所定の用紙に必要事項(鑑賞、観覧日時、感想文など)を記入し申請する。がない場合は、認定できません。

それぞれの詳細情報(地図、上映・開館スケジュールなどについては、各自で問い合わせてください。)

2月

それぞれ特別活動2時間に認定します。

お知らせ：卒業予定者は、2月29日(金)までに30時間満了してください。

展覧会	エミリー・ウングワレー展 2/26～4/13	国立国際美術館 四つ橋線「肥後橋」駅徒歩約10分	高校生600円(前売400円)
	ドイツ・ポスター1890-1933 2/26～3/30	京都国立近代美術館 地下鉄「東山」駅徒歩5分	高校生600円(前売400円)
	ウィリアム・ムル・ヴォリス展 2/9～3/30	滋賀県立近代美術館 JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、バス「滋賀医大」行にて「文化ゾーン前」下車、徒歩5分	高校生650円(前売500円)
映画館	エリザベス・ゴールデンエイジ 上映中 アポロシネマ他	1585年、エリザベス1世(ケイト・ブランシェット)はプロテスタントの女王としてイギリスを統治していた。だが、欧州全土をカトリックの国にしようと目論むスペイン国王フェリペ2世(ジョルディ・モリャ)は彼女の失脚を画策する。そんな女王の前に、新世界から戻ったばかりの冒険家ローリー卿(クライヴ・オーウェン)が現れ.....。	
	マゴリアムおじさんの不思議なおもちゃ屋 上映中 アポロシネマ他	まるで魔法にかけられたように、商品が勝手に動き出すマゴリアムおじさん(ダスティン・ホフマン)のおもちゃ屋。大盛況の折、マゴリアムおじさんは雇われ支配人のモリー(ナタリー・ポートマン)を後継者にすることを宣言。しかしその日を境に、マゴリアムおじさんの引退に不満を感じたおもちゃたちが、いたずらや嫌がらせを始めてしまう。	
	全然大丈夫 2/23～ シネリーブル梅田他	29歳の植木職人照男(荒川良々)の趣味は、人を脅かして楽しむこと。だが幼なじみでサラリーマンの久信(岡田義徳)に、いい年をして悪趣味だと非難されケンカになる。そんな折、久信は仕事の面接であかり(木村佳乃)という女性を採用するが、あまりの不器用さですぐに首にし、続いて照男の実家の古本屋に紹介する。	
ビデオ	スワロウテイル(1996年) 監督 岩井俊二 主演 Chara	紙幣偽造のデータを手に入れた娼婦のグリコは、中国系移民のヒョウたちとニセ札造りを始めた。ライブハウスを買い取り、歌手として有名になっていく彼女だったが.....。近未来の架空の都市「円都(イェンタウン)」を舞台に、若者たちの姿を描いた作品。	
	オダギリ・ジョー(1987年) 監督 犬童一心 主演 オダギリ・ジョー	ゲイである父親(田中泯)を嫌い、その存在を否定して生きてきた沙織(柴崎コウ)は、春彦(オダギリジョー)という若い男から父がガンで余命いくばくもないことを知らされる。春彦は父が営むゲイのための老人ホームで働く、父親の恋人だった。	
	リィ・シシのすべて(2000年) 監督 岩井俊二 主演 市原隼人	ウェブサイト上展開されたインターネット・インタラクティブ小説から生まれた衝撃の問題作。「スワロウテイル」の岩井俊二監督が、14歳の少年少女たちの心の闇、焦燥、痛みを鮮烈に描き出す。中学生になった蓮見雄一は同じクラスの優等生・星野修介と仲良くなる。夏休み、2人はほかの仲間たちと西表島へ旅行に行く。しかし、旅行から戻った星野は変質し、番長を倒し自らその座に収まり、蓮見はいじめの対象になっていく.....。	

中高生
初心者～中上級者



Osaka YMCA 春の自然学校



Friendship Never Ends!

春休み 志賀高原 中高生スキーキャンプ

日程：3月25日（火）朝～29日（土）朝

対象：中学生・高校生 参加費：60,900円（別途レンタルスキー6,000円）

宿舎：硯川ホテル ゲレンデ：志賀高原横手山エリア 集合場所：天王寺・新大阪



～自然・仲間・スキーとの出会い！白銀の世界で仲間とスキーを楽しみ、生活を共に創りあげるキャンプです～

京阪神からたくさんの中高生が集まります。そのたくさんの仲間と共に自分たちでプログラムを作り上げ、その過程の中でお互いを知り合い、仲を深め、共に過ごしていきます。

スキー講習はスキーが初心者でも安心です。大学生リーダーと一緒に「すべる・止まる」の基本から学び、「上級・中級・初級・初心者」とレベルに応じたグループでスキーを楽しみます。上級者は様々なゲレンデ・斜面にチャレンジします。中級者はパラレルの習得を目指します。初級者・初心者はなだらかな斜面をつかって長いコースを滑ります。

<スケジュール予定>

	3/25 (火)	3/26 (水)	3/27 (木)	3/28 (金)	3/29 (土)
朝	集合・出発 大型バスで 志賀高原へ	起床・朝食 スキー講習①	起床・朝食 スキー講習③	起床・朝食 スキー講習⑤ ワッペンチャレンジ	帰阪
昼	パーキングエリア で昼食	昼食 スキー講習②	昼食 スキー講習④	昼食 スキー講習⑥	
夜	板合わせ お風呂・夕食 プログラム	お風呂・夕食 プログラム	お風呂・夕食 プログラム	お風呂・夕食 志賀高原出発	

お問い合わせは、お近くのYMCAまでお願いします <http://www.osakaymca.or.jp>



2 月 の 聖 句

なにごと とき
「何事にも時があり

てん もと できごと
天の下の出来事には

さだ とき
すべて定められた時がある。」

(コヘレトの言葉 3 章 1 節)

あっ！、という間に過ぎてしまう2月になりました。1月はいく、

2月はにげる、3月はさる、などと言って年明けの時間の過ぎる速さを表現します。特に2月は寒いし、短いし、学年末、年度末前の忙しさもあります。受験や期末レポートでうなっている人もいるでしょう。なんだかなあ、と思っ
ていませんか。でも鍋はうまいし、おでんも・・・など暖かい食べ物、体の温まる飲み物を体内に入れるには最高の季節です。バレンタインデーもありますしね。

時間はいやでも過ぎてしまいます。それならば積極的に利用しましょう。神さまが与え、司っておられるこの時を、感謝してみませんか？寒いのは気候で心ではありません。短くても内容の濃い、いそがしくても心が亡ぼ(りっしんべんにほろぶ)されない生き方、それが、神を知る生き方です。そんなことを考えてみませんか。

(日本キリスト教団浪花教会 村山盛芳牧師より)
YMCA 学院高等学校では「体感するキリスト」を担当



南 YMCA「キリスト教」委員会 2007

C A R I N G
R E S P E C T **Y M** **H O N E S T Y**
R E S P E C T **C A** **R E S P E C T**
R E S P O N S I B I L I T Y